

現代書部

石飛 篝

「年末は、家でコロナに感染して」という生徒さんが何人もおられました。加えてインフルエンザも流行しているとか。そのせいか出品数も少し少なかったように感じました。さて、今回のA課題の「元日」を「元旦」と書いておられる方が多く、残念な気がいたしました。最近、私も出品票に「釈文」を書く段階になって間違っていることに気がつき、作品を差し替えざるを得なかった失敗をしました。素材の詩歌は必ず拡大コピーをして「創作ノート」に貼ってありますが、書いているうちに間違ってしまうことが私はよくあります。おまけに間違っている作品の方が出来が良かったり。ミスを防ぐには、何度も確認するしかないようです。みなさん、何度もチェックをしましょう。

現代書部 課題

A 枯野の小屋の夢あはく遠ざかりゆく風のおと
冬やのがれし春やきし

(国木田独歩の詩)

B 雪洞の影幽かなれば 雛の瞬きたまふ

(泉鏡花の文)

(しめきり).....三月十七日)

用紙

○A課題 小画仙角半、半切縦
○B課題 半切1/2縦・横自由

出品資格

一般および高校生

◎条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

なお、作品の裏右下に氏名を忘れず記入のこと。

※A・Bの両方同時に出品可。

※二点出品の場合、出品券の下部にA・Bを明記のこと。

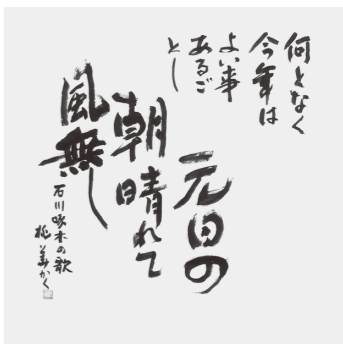
(選評)

A課題の部

桃華君 小書き部分と大字部分のコントラストが成功しました。
紫峰君 大胆に堂々と見せ場を作りましたね。作品づくりを楽しむ姿を感じさせる。
琴川君 三行にうまく収めました。落款の位置もよく考えられています。
麗石君 強い線でぐいぐいと書かれていて作品世界にひきこまれました。
星邨君 二行に字形を意識しながら丁寧に書かれていて上品な作品。
進君 歯切れの良い筆運びで今年の元日のように空間が澄んでいます。

B課題の部

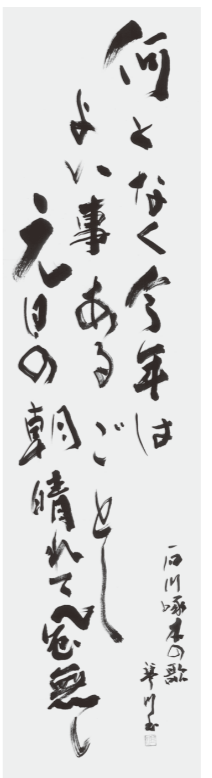
教子君 のびやかで張りのある線で紙面を縦横無尽に使っている秀作。
志保君 横書きをうまくまとめた。ただ、下に詰まったのが惜しい。
美峰君 小気味よい厳しい線質が魅力。右に働く線も欲しい。空間が響いている。
綾香君 運腕が大きくダイナミック。
華風君 潇洒な作品が目をはひく。ただ落款の位置、大きさの研究が必要。
栖麗君 空間処理がうまい。「ただひそか」が響いています。
光芳君 「神の算盤」が魅力的。
文子君 紙面の収め方がうまい。中央に目を集めさせる演出はさすが。



一井桃華



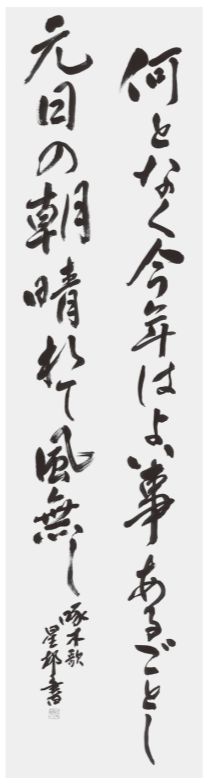
上田紫峰



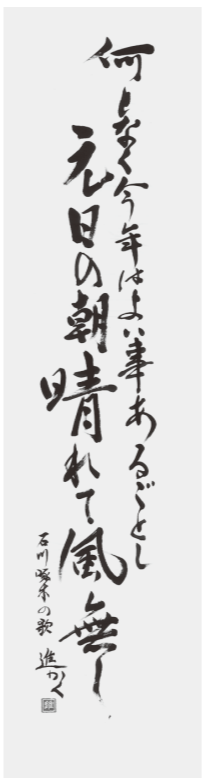
引場琴川



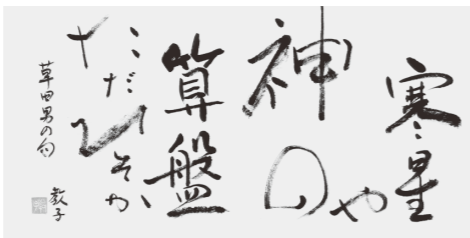
福島麗石



伊藤進



株田星邨



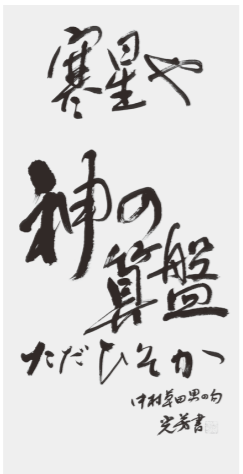
相馬教子



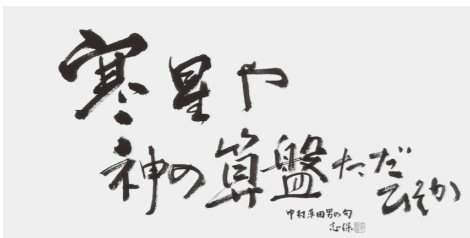
庄司美峰



松本栖麗



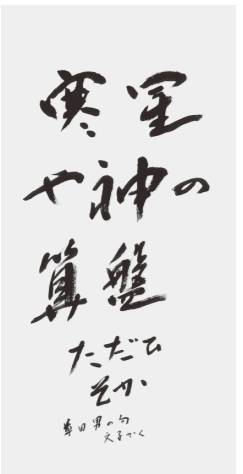
美坂光芳



田滝志保



佐々木綾香



松村文子